

農業と福祉で富山を元気に!



NOUFUKURENKEI

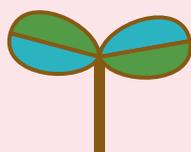
農福

連携

実践ガイド

TOYAMA

2023



# 農福連携とは



近年、農業分野では高齢化の進展等に伴う「労働力不足」や「担い手不足」が問題となっています。一方、福祉分野では障害のある人の「就労先の不足」の問題と、就労できたとしても得られる「工賃（賃金）の低さ」が課題となり、障害のある人の自立は依然として困難な状況です。

農福連携とは、これら「農業」と「福祉」双方の分野が抱える課題に対し、両分野の組み合わせによって解決しようとする取組みのことです。農福連携の推進における課題は決して少ないとは言えませんが、農福連携とは何かを県民のみなさんに知ってもらい、また理解してもらうことから始める必要があります。

この冊子が、これから農福連携に取り組んでみようと考えている皆さんの一助になれば幸いです。

## 目次

### 1. 農福連携の推進

「農業」と「福祉」の新しい出会い ..... 2
「農」「福」お互いのメリット
障害の事を「知って理解する」 ..... 3-4
「障害」の種類と特徴
障害のある人の就労支援事業と支援
農福連携の3つのタイプ ..... 5-6
農福連携の種類と特徴

### 2. 農福連携の事例

作業受委託型(1) ..... 7
委託 有限会社 小原営農センター
受託 NPO法人 富山ダルクリカバリークルーズ
作業受委託型(2) ..... 8
委託 柳田農村環境保全協議会
受託 NPO法人 b-らいつ
直接雇用型 ..... 9
株式会社 アデア牧場
農業参入型 ..... 10
社会福祉法人 海望福祉会「ぶどうの森」

### 3. 農福連携実践ガイド

農福連携をはじめよう ..... 11-12
農家・農業法人の場合
障害福祉サービス事業所の場合
農福連携に携わる機関 ..... 12-14
作業受委託を始める手順 ..... 15-16
障害のある人と働くために考えてみよう ..... 17-18
作業の切り出し
作業依頼シートの作成
作業ガイドを作成してみよう ..... 19-20
作業ガイドの作り方
農作業の見直しと「工夫」 ..... 21-22
慣行作業の見直しをする
作業場所を整える
作業道具や機械を改良する
職場環境と安全対策 ..... 23-24
職場の安全対策と雰囲気づくり
「GAP(農業生産工程管理)」に取り組む
野菜栽培における作業の例
農福連携と「GAP」の共通点 ..... 25
のうふく・こらむ 買って応援「ノウフクJAS」 ..... 26
ここが知りたい! 農福連携Q&A ..... 27-28

### 4. 農福連携を応援します

富山県の取組み ..... 29
富山県は農福連携を応援します ..... 30



## 1. 農福連携の推進

# 「農業」と「福祉」の新しい出会い

### ●「農」「福」お互いのメリット

農福連携は、「農業における課題」、「福祉(障害のある人)における課題」の双方の、課題解決に役立つWin-Winの取組みです。「農業」と「福祉」がつながることで、様々なメリットが生まれることが期待できます。



## 農業

### 課題

- 農業従事者の減少。
- 高齢化等の進展、若い後継者が少ない。
- 繁忙期の人手不足。
- 小ロットの委託加工先が少ない。

就労の機会(一般就労の場)を提供

農業を通じ、社会の人々との交流

### 課題を解決

- 労働力の期待と確保。
- 委託先の確保による6次産業化で、収入増が見込まれる。
- 地域での取組みで、農地管理の効率化が期待できる。
- 社会貢献につながる(就労機会を提供)。

## 連携

### Win-Win



## 福祉

### 課題

- 就労先での工賃(賃金)が少ない。
- 意欲のある人が活躍できる場を増やす必要がある。
- 障害者総合支援法及び、精神保健福祉法の下で、自立した日常生活や社会生活の実現が求められている。

人手不足の農業現場での労働力

作業内容に合わせた多様な人材

### 課題を解決

- 雇用先の増加、工賃(賃金)向上。
- 自然とのふれあいで、心のゆとりや情緒が安定。
- 一般就労に向けての体力・精神面での訓練に有効。
- 新たな職域による、社会参加の促進。

## 1. 農福連携の推進

## 障害の事を「知って理解する」

## ●「障害」の種類と特徴

農福連携の初めの一步は、障害のある人のことを理解することです。「障害」といっても、一見しただけでは分からない障害もあり、ひとくくりにはできません。

主として、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、難病(特定疾患)などが挙げられます。

●富山県内の障害者手帳の保有者数(人)

(各年度3月31日現在)

年度	種別	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者 保健福祉手帳
平成30年度		47,208	8,103	6,763
令和 元年度		46,598	8,264	7,311
令和 2年度		45,885	8,400	7,598
令和 3年度		44,452	8,541	8,146
令和 4年度		43,851	8,728	8,710

## 身体障害

## 【障害の特性】

先天的もしくは後天的な理由で、身体の機能の一部が不自由な状態を指す。視覚障害、聴覚障害、音声・言語障害、肢体不自由、内部障害(内臓機能など)の5つに分類される。

## 【作業の参考】※1

適期での収穫等の判断能力は高く、作業管理で能力を発揮する人もいる。ただし、手足の不自由な人は、圃場での作業に困難が伴う。

## 知的障害

## 【障害の特性】

記憶や知覚、判断といった知的機能の発達の遅れが見られ、社会生活への適応が難しい状態を指す。身の回りのことを行うのに支障が少ない軽度から、介助が必要な最重度までである。

## 【作業の参考】※1

体力を必要とする作業を行える。単純な作業でも集中力を持続できる人がいる。他方、適期の収穫、雑草の識別等の判断が難しい人もいる。

## 精神障害

## 【障害の特性】

様々な原因による精神疾患によって、日常生活に制約がある状態を指す。統合失調症やうつ病、双極性障害といった気分障害、神経症、パニック障害、適応障害など、多種多様な症状が当てはまる。

## 【作業の参考】※1

適期の収穫等の判断能力は高い。他方で、長い時間の作業が苦手だったり、幻覚・幻聴等で集中力が持続しない人もいる。

## 発達障害

## 【障害の特性】

先天性の脳の機能障害が原因で、自閉症やアスペルガー、学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)、吃音(症)などが幼少期のうちに発症。症状に個人差が大きい。

## 【作業の参考】※1

視覚優位、こだわりを活かした点検、計量、細かい作業が得意な人もいる。他方で、対人関係が苦手であったり、同時並行多重処理ができない人、手先が器用でない人、落ち着いて座ってられない人もいる。



農福連携の初めの一步は、「障害」とは何かを知り、「障害のある人の個々の特性(=個性)」を、理解する事です。

【作業の参考】は、いずれも施設運営サイドの方々の声を総合したものであり、医学的に実証されたものではありません。記載されている以外の分野でも能力を発揮できる方もいます。

※1 農福連携推進ブロックシンポジウムin九州(平成31年1月)基調講演資料「農福連携で何が変わるか?～農福連携による地域農業・地域社会への貢献～」(農林水産政策研究所企画広報室長兼首席政策研究調整官 吉田行郷氏)より引用

## ●障害のある人の就労支援事業と支援

障害のある人は、企業などに雇用され、社会の中で自立して生活していくことが望まれます。しかしながら、なかなか雇用に結びつかない、もしくは雇用されても長続きしないなど、引き続き訓練が必要な方もいます。

障害者総合支援法における就労系障害福祉サービスには、主として次のような種類があります。

## ●富山県内の障害のある人の雇用状況

(各年度6月1日現在)

年度	種別	障害者雇用数(人)	実雇用率(%)
平成30年度		4,235	2.04
令和 元年度		4,381	2.08
令和 2年度		4,409	2.13
令和 3年度		4,531.5	2.18
令和 4年度		4,599	2.24

※資料出所：富山労働局

## 就労系障害福祉サービスの種類

	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型	
対象者	就労を希望する障害のある人で、通常の事業所(企業)に雇用されることが可能と見込まれる人。	通常の事業所(企業)に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が可能である人。	通常の事業所(企業)に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である人。	
利用者像	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援学校を卒業したが、就労に必要な体力や準備が不足しているため、これらを身につけたい人。</li> <li>●就労していたが、体力や職場の適正などの理由で離職した。再度、訓練を受けて自分の適正に合う職場で働きたいと思っている人。</li> <li>●障害福祉サービス事業所などを退所し就労したいが、必要な体力や職業能力などが不足しているため、これらを身につけたい人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別支援学校を卒業して就労を希望するが、一般就労するには必要な体力や、職業能力が不足している人。</li> <li>●一般就労していたが、体力や能力などの理由で離職した。再度、就労の機会を通して職業能力などを高めたい人。</li> <li>●障害福祉サービス事業所などを退所して就労を希望するが、一般就労するには必要な体力や、職業能力が不足している人。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就労移行支援事業を利用したが、必要な体力や職業能力の不足などにより、就労に結びつかなかった人。</li> <li>●一般就労していて、年齢や体力などの理由で離職したが、生産活動を続けたい人。</li> <li>●障害福祉サービス事業所などを退所するが、50歳に達しており就労は困難な人。</li> </ul>	
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般就労などへの移行に向けて、障害福祉サービス事業所内や、企業における職場実習などの機会を提供。</li> <li>●適性に合った職場探しや、就職後の職場定着支援を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●通所により原則、雇用契約に基づく就労の機会を提供。</li> <li>●一般就労に必要な知識、能力の向上のために必要な訓練などの支援。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●障害福祉サービス事業所内などにおいて、就労の機会や生産活動の機会を提供(雇用契約は結ばない)。</li> <li>●一般就労に必要な知識、能力の向上のために必要な訓練などの支援。</li> </ul>	
富山県	事業所数(定員数)	22事業所 (253人)	66事業所 (1,188人)	131事業所 (2,845人)
	賃金/工賃平均月額		70,670円	17,058円
	最低賃金		948円	
備考		障害福祉サービス事業所と雇用契約を締結する。障害福祉サービス事業所は、利用者に対して最低賃金以上の賃金を支払う必要がある。	障害福祉サービス事業所と雇用契約を締結しない。利用者は作業内容に応じて工賃を障害福祉サービス事業所から支給される。	

●事業所数、定員数は富山市以外は県障害福祉課、富山市分は富山市調べ(令和5年8月1日現在)

●賃金/工賃の平均月額は、厚生労働省調べ(令和3年度のデータ)。最低賃金は、厚生労働省公表データ(令和5年10月1日発効)

## 1. 農福連携の推進

## 農福連携の3つのタイプ

## ● 農福連携の種類と特徴

農福連携の取組みには、おおむね3つのタイプがあります。その中でも■作業受委託型(農家・農業法人などが、障害福祉サービス事業所に、農作業や加工等を委託する)が農業・福祉ともに比較的取り組みやすいと考えます。



## 1 作業受委託型

**特徴** 農家・農業法人などが、障害福祉サービス事業所に、農作業や加工等を委託する

## 施設外就労

農家・農業法人などから  
作業委託される



障害福祉サービス事業所

農場へ行き収穫作業や  
出荷調整を行う



農家・農業法人など

or

## 施設内就労

加工などの作業を委託し、  
農作物などを事業所に運ぶ



農家・農業法人など



持ち込まれた  
農作物などを  
加工し、  
納品する※



障害福祉サービス事業所

※卸売場等へ直接納品する場合もある



作業受委託型「施設外就労契約」の進め方の詳細は、  
P.15「作業受委託を始める手順」をご覧ください。

## 2 直接雇用型

特徴

農家・農業法人などが障害のある人を雇用し、農業に従事してもらう



障害のある人



農家・農業法人など

農業に従事する



障害のある人

## 3 農業参入型

特徴

障害福祉サービス事業所が、自ら農業を行う

働く意欲がある



障害福祉サービス事業所

事業所が管理する  
農地で農業を行う

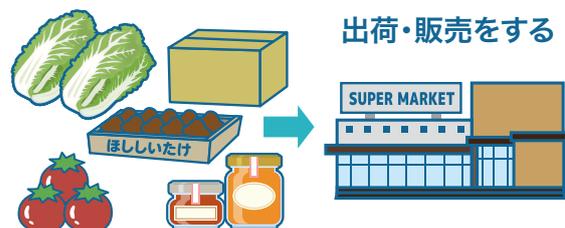


事業所が管理する農地

農作物を収穫し、  
加工や出荷調整などを  
行う



事業所管理の農業施設



スーパー、直売所 など

# 作業受委託型(1)

稲作や大豆の場合

主な仕事内容 / ● 田植え補助 ● 草刈り



有限会社 小原営農センター

富山県富山市小羽1438 電話 / 076-468-0034

【URL】<https://ohara-organicfarm.amebaownd.com>

農業MEMO

田植えの補助や、田んぼの畦などの草刈りを委託。



田植えの際の補助

田植え機に乗るスタッフに苗箱を渡す作業も施設に依頼。

1992年設立。有機JAS制度が施行される以前から、有機栽培にこだわった稲作を行う。「自分たちが食べたい」と思う米づくりを実践し、およそ60haの田んぼで水稻と大豆をメインに、すべて有機栽培を行っている。

米と大豆の生産だけでなく、加工した豆腐や納豆、冬には餅も製造している。有機栽培は手間がかかるため、加工品には付加価値をつけ、販売に力を注いでいる。

「NPO法人富山ダルクリカバリークルーズ」へは、田んぼの畔などの草刈りを委託している。その他、田植えや育苗の時期には、別の障害福祉サービス事業所にも委託している。



農

農福連携をはじめて良かったこと

社会就労センター協議会の紹介で、2020年から「NPO法人富山ダルクリカバリークルーズ」さんへ草刈りを依頼しています。日程や作業の段取りには、農福連携コーディネーターの方が間に入って来て、施設のスタッフの方もしっかりと利用者の方へレクチャーをしてくれているので、最初の打合せが済めば、特に指示を出さずに安心して任せています。

草刈りは、傾斜のきついところや障害物があるところは作業範囲からはずし、毎回なるべく同じ田んぼを、同じ利用者の方に作業を行ってもらおうようにしています。農繁期に別の作業に時間をかけられるようになったので、非常に助かっています。作業も丁寧で仕上がりが問題なく、疑問点があれば私たちに確認してもらえるので、こちらも不安に感じることはありません。



大豆は加工品も販売している。また、大粒の黒大豆は人気がある。

障害福祉サービス事業所での作業の進め方と、障害のある人が作業する際のポイント



NPO法人  
富山ダルクリカバリークルーズ

富山県富山市岩瀬古志町19番地1 電話 / 076-407-5777

【URL】<https://toyama-darc.jimdofree.com>



機具を扱う為、安全面の確保はしっかりと

## 田んぼ周辺の草刈りの場合

【作業内容】春から夏にかけて数回田んぼの畦や周辺の草刈りを行う。

作業を受託する際に考慮すること

同行する担当者は安全面の確保、草刈り機の使い方のレクチャーや実演を行い、安全かつスムーズに利用者が作業できる環境を整えている。

草刈り機が苦手な人には熊手で草を集めてもらうなど、それぞれができる役割を担って作業を進めている。

【作業に適した人】

体力のある人、根気強い人



福

農福連携をはじめて良かったこと

高齢の農家が多いこと、また草刈りまで手が回らないという忙しい農家も多いので、人手不足という問題点に私たちにも役立つ部分はあると感じています。

いつもは施設で自分たちで献立を作って、食事を作っています。米や野菜づくりに自ら関わることで、ありがたみを感じる良いきっかけとなっています。また農家さんから「ありがとう」と言われることが利用者の喜びにつながっています。

# 作業受委託型(2)



柳田農村環境保全協議会

富山県氷見市柳田地区

農村環境保全の場合

主な仕事内容 / ● 草取り ● 整地 ● 栽培 ● 出荷調整

農業MEMO

マコモダケの出荷、ひまわり畑の整備を委託。



花壇の整備 畑の周りに花壇をつくる作業も障害のある人と一緒に行う。

増え続ける遊休農地、耕作放棄地を改修して地域の景観を保ち、保全を図ることを目的とし、2014年に設立。氷見市柳田地区の11自治会の会長を筆頭に、全1,300世帯で構成されている。

マコモダケの栽培は10aから始まり、現在は10倍に。「ひまわりの里」のひまわり畑の整備も行なっている。

「NPO法人b-らいふ」には、収穫後のマコモダケを出荷する作業を委託。「ひまわりの里」では、5～11月にかけて、草取り、畑の整地、ひまわりの抜根作業、茎を抜いて花を植える作業などを委託している。

農福連携の事例

作業受委託型(2)



農

農福連携をはじめて良かったこと

氷見市から、「成り手を育成する」という観点で農福連携の話をしていただきました。こちらから直接「NPO法人 b-らいふ」さんに話をもちかけたところ、先方も就労の機会を待ち望んでいたということで、話がうまく進みました。

私たちは、実際に動いているメンバーのほとんどが「長寿会」の方で、慢性的な人手不足で困っていました。「NPO法人 b-らいふ」さんの若くて元気な方の力を借りることで、作業もはかどり、本当に助かっています。コスト面でのメリットもありますが、徐々に信頼関係が出来上がってくると、障害のある人のモチベーションも上がるようで、その前向きに取り組んでいる姿を見ると、私たちも嬉しく思います。お互いにとってWin-Winの関係になっていることが農福連携の魅力だと感じています。



町の景観を保つことも大切な仕事

障害福祉サービス事業所での作業の進め方と、障害のある人が作業する際のポイント



NPO法人 b-らいふ

富山県氷見市幸町4574 電話/0766-54-0530

【URL】<https://www.b-life-toyama.jp>



選別作業を一つひとつ丁寧に

## マコモダケ(真菰)の出荷作業

【作業内容】選別から出荷作業までを一貫して請け負う。

作業を受託する際に考慮すること

作業内容によって、誰が行くか、どのグループで行くかを障害福祉サービス事業所で判断し、同行する担当者が、障害のある人が作業をしっかりと覚えられるように指導する。また、「あとどれくらいでできるよ」と、ゴールを示してあげることも必要。

【作業に適した人】

判断力のある人、集中力のある人



福

農福連携をはじめて良かったこと

障害のある人が「行きたい」という場所をなるべく優先してグループを組むようにしています。

農作業が好きな人もいますので、外での作業を喜んでやってくれている姿を見るのは嬉しいです。本人たちのやりがいにもつながっているなど実感しています。

また、障害のある人たちが一生懸命に働くことで、地域の人たちに障害に対する理解を深めてもらう良いきっかけになっていると感じています。

# 直接雇用型

## 酪農の場合

主な仕事内容／● 牧草等の運搬 ● 牛舎の清掃



株式会社 アデア牧場

富山県富山市文珠寺20番地3 電話／076-483-0713

農業MEMO

体力を活かし、牛舎内の力仕事で活躍。



次の日の作業の準備のため、通路に寝床用のおが屑を運び、積んでおく。



アデア牧場では、ホルスタインと和牛を飼育。毎月3～4頭の子牛が生まれる。

1972年に個人経営の酪農農家としてスタートし、2011年に法人化したアデア牧場。スタッフ7名のうち、障害のある人を1名、直接雇用している。

学校を卒業後、現在まで26年間勤続。牛舎での仕事は力仕事が多いため、体力のある本人の特性を活かして仕事を割り振っている。排せつ物などで汚れた牛舎をきれいに掃除し、新しい牧草やおが屑を一輪車で運び、敷き詰めるのが主な作業。他のスタッフにはできない仕事も率先して行っている。



汚れた牧草をスコップできれいにする



拾った牧草やおが屑を一輪車で運ぶ



新しい牧草のロールを崩すのも力作業



農

### 農福連携をはじめて良かったこと

本人が毎日喜んで来てくれることは、私たちにとってもうれしいことです。まじめで、お願いしたことは必ず最後までやってくれますし、他の従業員よりも力があるので、仕事の的にも本当に助かっています。

おが屑を置く場所に白線を引いて、間隔なども覚えてもらうことからはじめ、最初の5年間は指導しながら根気よく作業を覚えてもらいました。仕事はある程度覚えた今でも、広い牛舎内で本人が迷わないよう、育成牛のマスに番号をふり、番号ごとにごのような作業をするかを指示するなどの工夫をしています。

昼ごはんや時には宴席も共にしますが、喜んで参加してくれるので、みんなにかわいがられています。

これから  
障害のある人を  
雇用する方への  
アドバイス

仕事や趣味も含めて好きな分野(得意な分野)を見つけて、それにあった割り振りをするのが大切だと思います。仕事内容や、休憩の時間も一定のリズムを作って、それを崩さないようにしています。

注意が必要な時は注意をし、我慢が必要な時は我慢をする。それを繰り返すことで、お互いの信頼関係につながっていきます。一人にすることはせず、常に行動には危険がないか、気を配って見ておくことが大事だと思います。

# 農業参入型

## さつまいもの場合

主な仕事内容／●定植 ●収穫 ●加工 ●販売



社会福祉法人  
海望福祉会「ぶどうの森」

富山県魚津市小川寺字天神山5852 電話／0765-31-6030  
【URL】<https://www.kaiboufukushi.com/budounomori/>

### 農業MEMO

始まりは、ぶどう園の後継者…さつまいもで通年の作業を確保。



さつまいもの苗植え作業

干し芋や焼き芋として加工するさつまいもは、苗植えから行う。



収穫作業もみんなで協力

一番の楽しみと言っても良い収穫作業は、障害のある多くの人が協力して行う。

魚津市小川寺地区で、担い手問題に悩むぶどう園の後継者として手を挙げたのが、「ぶどうの森」を運営する「社会福祉法人 海望福祉会」と、「株式会社 天空(かなた)」。

2社の合同事業として、2019年にぶどう園を受け継いだ。現在、生食用のぶどうは0.7ha、ワイン用は2.8haの畑で栽培されている。また通年の仕事として、さつまいもの生産も手がけ、冬はさつまいもを使った焼き芋、干し芋を販売する。

「ぶどうの森」では近隣の畑を借り0.3ha分のさつまいもを、生産から加工販売まで一貫して請け負っている。



スライサーで薄切りにする



干した芋を計量しトレーに乗せる



トレーのパック詰めは最終工程



福

### 自分たちで「農業」をはじめて良かったこと

人によって能力は様々なので、1～10までできる人にはすべての工程をやってもらい、1～3までしかできない人にはスタッフが付いて、来年には1～5までできるように成長を促しています。多くの方が手にする商品の製造・販売に携わ

ることで、直接お客様の声や反応を、肌で感じてもらうことも大切にしています。

「ぶどう」と「さつまいも」の両方をやることで、一年を通して作業がどんどん変わっていきます。障害のある人が、飽きずに作業に取り組んでくれている一因だと思います。その時々作業を休まずに一生懸命やってくれて、どんどん上手になっていく姿を見ると、たくましいなと感じます。お客様の笑顔を想像してやることで、やりがい生まれているのだと思います。



焼き芋も取り扱っている



### 他にもいろいろ作っています



魚津の「西布施ぶどう」